

はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧の施術所を開設する皆様、はり師、きゅう師及びあん摩マッサージ指圧師の皆様へ

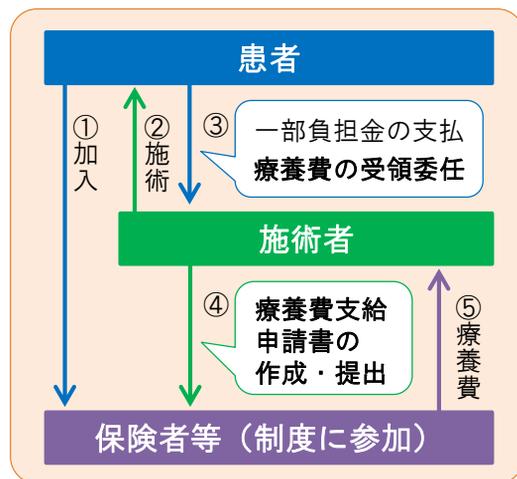
1 受領委任制度のご案内

はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧について、施術者等が患者等に代わって療養費の支給申請を行う「受領委任制度」が導入されました。

(大分県内の市町村国保及び大分県後期高齢者医療広域連合は平成31年4月1日から取扱い開始予定)

制度の仕組み

- 受領委任とは、施術者が、医療保険（療養費）で定める施術を行い、患者等から一部負担金を受け取り、患者等に代わって療養費支給申請書を作成・保険者等へ提出し、患者等から受領の委任を受けた施術者等が療養費を受け取る取扱いです。このような取扱いは、これまで療養費の支給申請先（保険者等）ごとの判断で行われておりましたが、今回、厚生労働省で共通の取扱いとして制度化しました。
- 受領委任の取扱いは、制度に参加する保険者等に関する取扱いです。各保険者等の制度への参加やその時期については保険者等により異なるのでご注意ください。（大分県内の市町村国保及び大分後期高齢者医療広域連合は平成31年4月1日から取扱い開始予定です。）制度に参加する保険者等については、参加する1ヶ月前までに厚生労働省のウェブページに掲載する予定です。



受領委任の取扱いを希望される場合は、九州厚生局大分支部へ申請をお願いします

平成31年4月1日から受領委任の取扱いを希望する施術所の施術者（または出張専門の施術者）の方は、平成31年3月末までに九州厚生局大分支部へ申請（申出）書類を提出するようお願いします。なお、受領委任の取扱いを希望しない場合や申請（申出）書類の提出が遅れた場合は、平成31年4月以降は、原則として患者等が一旦施術所（施術者）へ施術料金の全額を支払い、後に患者等が保険者等へ療養費支給申請書を提出し、療養費が患者等に支払われる取扱い（償還払い）となりますのでご注意ください。（これまでの代理受領の取扱いではできなくなります。）

※ 具体的な手続きについては、九州厚生局のウェブページに掲載しておりますので、ご確認願います。
(https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/kyushu/shinsei/shido_kansa/zyuryouinin_hari_kyuu_anma_shiatsu.html)

2 同意書の取扱い変更のお知らせ

はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧について、平成30年10月1日から同意書の取扱いが変わりました。

主な変更点

- 同意書の様式が変わりました。また、6ヶ月（従前は3ヶ月）を超えて引き続き施術が必要な場合は、患者が保険医の診察を受け同意書（文書）の交付を受ける必要があります（変形徒手矯正術は従前どおり）。
- 6ヶ月（変形徒手矯正術は1ヶ月）を超えて引き続き施術が必要な場合、医師と施術者との連携が図られるよう、新たな取扱いとして、施術者は、**施術報告書**（施術の内容・頻度、患者の状態・経過等）の交付が求められます。交付した場合、その写しを療養費支給申請書に添付のうえ**施術報告書交付料**を請求することが可能です。

- ①同意書様式の変更
- ②同意期間の変更（3ヶ月→6ヶ月）
- ③文書による再同意
- ④再同意の際の「**施術報告書**」交付（新規）
※施術報告書交付料の請求が可能になります。

【参考】厚生労働省ウェブページ

- ・通知「はり師、きゅう師及びあん摩マッサージ指圧師の施術に係る療養費に関する受領委任の取扱いについて」
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iryohoken/iryohoken13/dl/180612-01.pdf>
- ・通知「「はり師、きゅう師及びあん摩・マッサージ・指圧師の施術に係る療養費の支給の留意事項等について」の一部改正について」
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iryohoken/iryohoken13/dl/180621-06.pdf>